



愛知県立南陽高等学校 情報ビジネス系列

事業者が繋いだ高大連携教育

南陽高校・相山女学園大学「教えあい・学びあい」交流授業 SMBC コンシューマーファイナンス株式会社が橋渡し

- 概 要 愛知県立南陽高等学校（愛知県名古屋市港区、校長：金尾正枝）では、平成26年度より、金融経済教育を展開する SMBC コンシューマーファイナンス株式会社と連携し、消費者教育を実施しています。今年度、同社の紹介で相山女学園大学（愛知県名古屋市千種区、学長：森棟公夫）と交流授業を実施することになりました。
- 本校で科目「ビジネス経済応用」を学ぶ生徒と、同大現代マネジメント学部、水野ゼミで学ぶ学生が対象となります。平成28年11月11日（金）に、同大准教授水野英雄先生と本校教諭・渡辺力樹の指導のもと、それぞれが学んだ内容を教えあいます。また、グループで交流学习を行います。
- 授 業 日 時 愛知県立南陽高等学校（名古屋市港区大西2丁目99番地）プレゼンテーションルーム
平成28年11月11日（金）10：45～12：45
- 内 容 南陽高校の選択科目「ビジネス経済応用」（3年生9名）では「地域ビジネス事情」を学ぶ単元の一部として、消費者トラブルの発生原因を探り、関係者に解決策を提案する実習を行っています。今年度は、大学生や新社会人が巻き込まれることの多い「アルバイト詐欺のトラブル」と「カードの不正利用のトラブル」について、トラブルに巻き込まれないための方策を考案しました。
- 平成28年11月11日（金）、相山女学園大学現代マネジメント学部、水野ゼミで経済（エコノミクス）を学ぶ大学生、「エコジョ」6名を校内に招き、自分たちが考えたトラブルの回避方法を提案します。その後、「エコジョ」が大学で学んだ「奨学金問題」、「仕事と時給の関係」、「子育てにかかる費用と少子化」などを教えてもらいます。
- お互いが教えあった後は、教員の指導のもとで、グループで議論をし、その内容を発表する活動を通して学びあい、問題解決能力やコミュニケーション能力を高めます。
- 今回の取組は、本校および同大とそれぞれ連携教育を行う SMBC コンシューマーファイナンス株式会社名古屋お客様サービスプラザの橋渡しにより実現しました。



SMBC コンシューマーファイナンス株式会社との連携授業の様子